

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第58号

H27. 12. 7

新体育館で輝いた姿 響いた歌声

～ 学年ごとの成長を感じさせた合唱。心に刻まれた熊谷育美さんの語りと歌声 ～

11月6日(金)の合唱コンクールでは、多くのご来賓や保護者・地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。新体育館での初めての合唱コンクール。生徒たちが準備した座席いっぱいにお越しいただいた皆様を拝見しまして、子供たちへの温かいご支援に感激し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

文化祭を終えてから間もない時期でしたが、最後の追い込みができたのは、生徒たちの“よりよい合唱コンクールに”という気迫があったからでしょう。指揮者・伴奏者さんが夏休みに登校し、伊原先生に教えていただきながら練習する姿も見ました。準備を進めてきた実行委員も含め、そういった努力が支えとなって、感動的なハーモニーをつくりだしたと思います。長期にわたり子供たちを激励していただき、ありがとうございました。

小学校5年生と中学校2年生の「翼をください」と、小中全校学校の「ふるさと」「いのちの歌」。どれも歌詩に込められた深い思いが伝わる素晴らしい合唱でした。



【体育館に響いた全校合唱】

= 当日、生徒が書いた感想より =

【1年生合唱】の感想

- ・女子は全員口が開いているので、真剣さが伝わってきました。
- ・指揮者が体全体で指揮をしていて良かったです。
- ・地声で歌っている子がいたけど、1年生らしい元気が伝わってきました。
- ・暗い感じを受けたので、男子の声で支えるとよいと思います。

【2年生合唱】の感想

- ・指揮者の手の動きに合わせて、声が大きくなったり小さくなったりしていたところが良かったです。
- ・練習の時のほうが良かったのは、まだ練習が足りないってことだから来年はもっと早く真剣に練習を始めたいと思います。
- ・明るく口を大きく開けて楽しんで歌いたいです。
- ・本番は楽しく歌えました。練習の時から心をついにできたらもっと良かったと思います。

【3年生合唱】の感想

- ・『花』は、はねているように感じました。『花』と『あなたへ』では、声に変化があって明るさがぐっと変わり、すごい表現力だと思いました。
- ・『あなたへ』は、人間のあり方を歌ったものだけど、パートごとの音程の重なりがとてもきれいだと思いました。
- ・みんな一人一人が真剣に歌っていました。
- ・指揮と伴奏はパワーがありました。
- ・まとまっていて気持ちが伝わってきました。サビがかっこよく、先輩のように歌いたいと目標ができました。

♪♪ ミニコンサート ♪♪

7月。気仙沼在住のシンガーソングライター熊谷育美さんに前芝中の防災学習の様子を伝えて依頼したところ、ご厚意でのご出演となりました。

育美さんは、心に傷を負った東日本大震災からふるさとの復興のために立ち上がった思いを、心に染み入る透き通った歌声と語りで伝えてくれました。育美さんの復興・防災のために活動を続ける姿に感銘を受けました。

お帰りの前にインタビュー受けました。その模様が、前芝校区合同防災訓練の良さも含め、11月14日にTBC東北ラジオで流されました。

『生きて』は、「絶望から救って」という歌詞にとっても重みがありました。『僕らの声』は、とても楽しかったし、一番感動した歌でした。これからも自分のふるさとを大切にしようと思えたコンサートでした。(2年女子感想)
地震や津波で、大切なものを失ったことの悲しみを乗り越え、夢のつづきを描きたいという気持ちが、歌から伝わってきました。(3年男子感想)

気仙沼在住・熊谷さん熱唱

古里への思い
つづった4曲

写真で震災前後も紹介

豊橋前芝中合唱
コンでライブ

豊橋市前芝中学校 日、合唱コンクール
(谷中緑校長)で6があり、宮城県気仙



会場が一体となり盛り上がった熊谷さんのコンサート＝豊橋市前芝中学校で

沼市在住のシンガーソングライター熊谷育美さん(30)がライブを開いた。全校生徒1332人と隣接する前芝小学校の5・6年生約80人が鑑賞した。
この日は震災前に古里を思い、書いた「雲の遙かや」夢のつづきをなど4曲を披露。曲の合間には震災前後の写真を見ながら東日本大震災がもたらした街の変化について語った。熊谷さんは地元気仙沼市で被災。地球に隕(いん)石が

ぶつかっと思ったと思うほどの衝撃だった」と地震を表現。「津波避難訓練をしても動けなかった。心理的

にパニックになる」などと話し、日ごろの訓練の重要性を訴えた。
震災から間もなく4年8月「豊橋市のボランティアの人々に支えられて今日まで歩いてこれた」と支援に感謝を述べた。
ライブ終盤には同

校教員らがサブライズで「僕らの声」の合唱を披露。生徒らと共に、上にかざした手を左右に振りながら盛り上がった。(飯塚雪)

東愛知新聞 (11/7 掲載)

東日新聞 (11/7 掲載)

歌声と語りで魅了

被災体験聞き防災学習に役立てる

熊谷育美さんが前芝中でミニコンサート



ピアノを弾きながら歌う熊谷さん(豊橋市前芝中学校で)

宮城県気仙沼市を拠点に活動するシンガー・ソングライター熊谷育美さんのミニコンサートが6日、豊橋市前芝中学校であった。東日本大震災を体験した熊谷さんの「生の声」を聞いて防災学習に役立てようと同校が招き、熊谷さんは快く無償でのコンサート開催に応じ、実現した。同校体育館に集まった全校生徒1332人と隣接する前芝小

学校の5、6年生計77人、地域住民など約60人を前に、熊谷さんはピアノを弾きながら清涼感のある歌声を披露。曲の合間には故郷の気仙沼の復興状況を写真で紹介し、「懐かしい景色がなくなるのは寂しいけど、より良い街になれば」と語った。前芝地区の保育園と小中学校が合同で行った避難訓練を「素晴らしいこと」とたたえ、「ぜひ感想を家族と話し合ってほしい」と防災意識を持つことの大切さを訴えた。(中嶋真吾)

【お知らせ】

12月16日(水) 午後は、豊橋市立小中学校の教職員が『研究部研究大会』に参加し、授業力向上等についての研修をします。

生徒は3時間の授業と給食終了後下校をし、午後4時まで外出禁止のうえ、家庭学習となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。